

KYOTO IKUSEINOKAI

Annual

Report
2024



社会福祉法人
京都市成育の会

令和6年度
事業報告書

法人理念

「私たちは、利用者と職員が喜び合って一緒に成長する支援を目指します。」

「私たちは、利用者が充実感を持って活動できる支援を目指します。」

「私たちは、利用者が社会とともにある(社会の中で共に生きる)ことを実感できる支援を目指します。」

長期ビジョン

- 1) 新しいアイデアや発想を出し合ってチャレンジ、課題や目標に対し前向きに取り組む
- 2) 利用者や職員がこの法人での仕事や活動について誇れる
- 3) 地域の福祉やコミュニティにとって重要な役割を担う

職員行動指針

- 1) 利用者の尊厳を守ります
- 2) 利用者の個性を理解し、個々の思いを引き出し実現へ尽力します
- 3) 職務に必要な専門的知識を学び、成長を続けます
- 4) ルールを守り、チームワークを大切にして、目標達成を目指します
- 5) 創意工夫により、時間と経費の無駄をなくす努力をします
- 6) 地域課題やニーズを把握し、公益的な取組を推進します
- 7) 外部資源との連携と情報発信を積極的に行います

中期目標 スマイルプラン2026

		2022	2023	2024
利用者・家族	1. 地域課題やニーズを根拠にした新規事業や公益的な取組	GHアンケート・見学・土地調査 地域の独居老人昼食会や障害者の活動の場所を提供		
	2. 魅力的な商品の開発による収益・工賃向上、利用者の確保への取組	A型事業所作業の新規開拓 強度行動障害研修受講・自閉症支援コンサルティング利用	近隣の高校でのパン販売	支援学校との関係強化
	3. 利用者の満足度を高める取組	利用者アンケート		一般就労へのアプローチ 芸術活動への取り組み
	4. 人材育成とモチベーションアップに向けた取組	e-ラーニング(研修)コンテンツの活用 法人全体でのOJT会議・担当者の明確化		
	5. 人材確保と定着への取組	新卒採用活動による入職 インターンシップ受入 相談窓口の設置 他法人との連携プログラム		
	6. 業務効率化とDX(デジタルトランスフォーメーション)推進	社会保険電子申請(g-Biz)/e-gov利用		
地域社会	7. 地域連携と貢献活動の拡充	子ども食堂への協力・小学生対象のパン教室	清掃作業先周辺の美化活動 中学校における人権学習での講演	高校生のボランティア受入 地域の防災訓練に参画
	8. 事業活動や法人の強みや魅力発信の強化	ホームページリニューアル プロモーション会議		
組織運営	9. 組織・財政基盤強化	税理士による巡回監査・社会労務士によるサポート BCP策定・研修		

代表者メッセージ

理事長 天野 広一



日頃は、京都育成の会の事業についてご理解ご協力いただいております、ご利用者並びにご家族の皆さま、地域の皆さま、関係機関の皆さま、心よりお礼申し上げます。

今回、初めて京都育成の会の1年間の取り組みを、より多くの方へ知っていただくため、またこれから未来に繋いでいくアーカイブとしてこちらの事業報告書を制作いたしました。

事業報告書の制作にあたっては、各事業所よりベテランから若手までメンバーが集い、掲載の写真や文章を考え、意見を出し合ってまとめることができました。

ご利用者の方のイラストも表紙と裏表紙に採用いたしました。絵を書くことが好きな方が多く、個性あふれる作品も多くございますので、継続していきたいと思います。

2022年に策定しました長期ビジョン・職員行動指針・スマイルプラン2026(中期計画)を指針として、利用者家族・職員・地域社会が関わりあって可能性を広げる事業を進めてまいりました。

これまでに強度行動障害・自閉症支援のコンサルティングと研修充実、新卒採用活動並びにインターンシップ受入、関係事業所とのつながりを深めるのためのプラットフォーム会議の構築、人権学習での講演やボランティア受入など中高生への障害者理解を深める活動などを行ってまいりました。来年度には新たな中期計画を策定するため準備を進めています。

現在、福祉サービスの多様化への対応は急務となっております。新規サービスを含めた新しいことへチャレンジできる環境づくりを進め、また小規模な法人のため、お互いの強みを生かせる法人間での連携も積極的に行っていきたいと思ひます、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

法人概要

事業内容：第二種社会福祉事業（障害） 就労継続支援A型・B型/生活介護/計画相談支援（京都市左京区・南区）

設立：1998(平成10)年7月2日

代表者：理事長 天野 広一

職員数：56名（令和7年4月1日現在） うち正職員37名

法人の取り組み

新卒採用並びに職場体験受入

令和3年度より新卒採用への活動が始まり、令和4年4月からこれまで8名の新卒者の方が当法人の一員になりました。

職場体験も他法人と連携してプログラムを作成したり、年々充実したものになっております。

現在では、新卒採用で入职した若手職員が、福祉業界を検討している学生のセミナーに参加して福祉の魅力を語る立場を担っています。



就職フェア出展時の様子

プロモーションチーム

法人内の活動を多くの方に知っていただくための広報活動の充実のため、メンバーが集い、SNS利用のガイドラインを作成、事業所の紹介動画を作成しました。

日々の活動の様子は、各事業所のインスタグラムに投稿していますのでぜひご覧ください。



京都育成の会
Instagram

法人職員研修

利用者支援を担う職員の皆さんにとって大切なことの一つに、心身ともに健康な状態でおられることです。健康への取組として、年に2回、「腰痛予防」と「メンタルヘルス」の研修を実施いたしました。

研修は法人内の職員が集いますので、貴重な現場間の職員交流の場にもなっています。



第三者評価受診

当法人では、サービスの質の向上への取組として各事業所において3年に1回、第三者評価の受診をしています。令和6年度は西寺育成苑が受診。

こちらの「京都 介護・福祉サービス 第三者評価」のサイトに公開されていますので、ぜひご覧ください。

京都 介護・福祉サービス
第三者評価
WEBサイト内
京都育成の会ページ



京都市よしだ学園 就労継続支援B型 1日定員35名

各企業様からの箱折などの作業や、近隣の旅館にて清掃業務も請け負っています
また、利用者の方が描かれた動物の絵を扱った商品を販売



よしだ学園
Instagram

アクティビティのはじまり・・・

コロナ禍以降行事も少なくなるなかで、ご利用者並びにご家族から「もっとリフレッシュできる活動を取り入れて欲しい」「体を動かして欲しい」などの『声』をいただくことが増えました。軽作業以外でも利用者の皆さんのたくさんの魅力も伸ばしてもらいたいと考え、楽しく自分らしく活動できることにも取り組みました。

最初は少しずつ取り組み、現在は音楽や体を動かすことが好きな方はダンスエクササイズを、自分をアートで表現することがしたい方には創作(主に絵画)をする時間を提供しています。

また、社会のなかで暮らしていくために必要なマナー等の学習、みんなで何かを決めるための話し合いの時間、そういったことも併せて「アクティビティ」として取り組んでいます。これからも皆さんからの『声』を大切にによりよい形にしていきたいと思っています。



利用者家族との合同行事



毎年、ご家族と交流を深める行事を行っています。令和6年度は、ミュージカル鑑賞と清掃業務を請け負っている聖護院御殿荘にて新年会を行いました。

ご家族と顔を合わせた交流を図ることは、信頼関係の構築のためにとても重要なことだと感じています。

ワンステップ左京

令和5年度からスタートした～みんなの「左京」音楽祭～「ワンステップ左京」ですが、令和6年度も実行委員として職員も参画し、令和7年3月14日に開催。学園の利用者が司会を担い、ステージでは合唱を発表しました。

利用者の方々の中では、3月の定番行事として定着しつつあるイベントになっています。



左京区にある他の事業所との交流や、地域の皆さんに医療や福祉のサービスのことを知っていただくために活動できることに大変感謝しています。このイベントの目的でもある、障害がある人もない人も、どんな人も明日に向かう・次の段階に進める「一歩」となるように、そのきっかけづくりをよしだ学園でも取り組んでいければと思っています。



京都市よしだ福祉工場 就労継続支援A型 1日定員30名

京都市内7カ所の各現場に赴いて、清掃はじめ食器洗いや配膳などの作業に従事

利用者の皆さん一人ひとりが持つポテンシャルが非常に高く、仕事や社会参加への意欲も旺盛です。社会へ主体的に参加するための課題については、支援員とともに克服に向けて日々前向きに取り組んでいます。

清掃現場の方々からの励ましのお声掛けも、仕事に取り組むモチベーションになっています。

令和6年度は一般就労へのアンケートを実施し、希望のあった方のうち4名の方が、企業様への見学に参加、1名の方が実習に進まれました。

＊令和7年度に採用が決定

また一般就労希望の方から1名、京都障害者職業センターの職場評価により、適性などを把握し、職場リハビリテーションからのアドバイスを受け、次年度の就労活動の準備をいたしました。

地域貢献活動の一環として、現場周辺の歩道などで主に掃き掃除やごみ回収を行い、少しでも地域の美化に役立てられればと思っています。

コロナ禍以降、開催できていなかった利用者と職員との親睦会を開きました。普段、現場が違うためなかなか会うことのできないメンバーとも交流できて、賑やかで楽しい時間となりました。



清掃作業による地域貢献活動



利用者と職員の懇親会

西寺育成苑 多機能型

就労継続支援B型 1日定員30名

作業班：機械部品の組立・衣類製品の封入など
パン工房：パン・焼き菓子の製造販売



西寺育成苑
多機能型
Instagram

新たなパンの販売先

令和6年6月より定期的に洛和会 東寺南病院(現:東寺南クリニック)様でもパン販売を実施させていただくことになりました。洛和会 矢野理事長様はじめ、多くのスタッフの方にご購入いただきありがとうございます。

もっと皆さんに喜んでいただけるパン作りを目指していますので、今後ともよろしくお願いいたします。



作業室の整理整頓・作業導線の改善、体力集中力UPへの取組

年齢の高い利用者の方でも、安全にかつ効率的に作業に取り組めるよう詳細なアセスメントを実施し、その結果を具体的な支援策および環境改善に反映しました。

アセスメントの結果に基づき、作業効率の向上とミスの軽減を目的として、利用者の方が動きやすいように、作業室内の動線を変更しました。

物の置き場所を明確に定め、『そこには必ずそれを置かないといけない』というルールを徹底することで、作業プロセスを分かりやすくしました。

これらの改善の結果、作業的な効率が向上し、売上UPに繋がりました。

また作業に集中し続けるためには体力が必要であるという考えに基づき、体力づくりを目的とした支援も取り入れています。

一つは昇降運動ですが、苦手な利用者の方にはエアロバイクに乗る選択肢を用意しています。タブレットで音楽や動画を見ながら20～30分ほど取り組まれています。



生活介護 1日定員30名

ダンスや創作活動、ウォーキングなどのグループでの活動や、個々の目標達成のための作業や自立課題の取組を提供
また、必要な方には送迎サービスも行っています



京都市長賞

創作活動の成果

令和6年の11/29～12/1に開催の「とっておきの芸術祭」に6名の利用者の皆さまの作品(絵画や陶芸)を出展、京都市長賞と佳作を受賞することができました。

＊とっておきの芸術祭とは？

障害のある方々がそれぞれの個性や才能を発揮する機会として、京都障害者芸術実行委員会が毎年開催

調理プログラム

利用者の方からのリクエストにより、クッキング（ホットケーキ）に取り組みました。

事前の買い物から関わっていただき、いざ調理開始！生地を混ぜている際にボールをおさえるなどお互い協力、ご家庭でもお手伝いをされているお話も伺いました。

これをきっかけにご家庭でも一つでも多くできることが増えればと思います。今後もご自身でできることを増やせる取組を行っていきます。



苑内にて夏まつりの開催

8月は多機能全体で毎年恒例の夏まつりを開催しました。ビンゴや箱を積み重ねる箱ツムツム、的当て、うちわ作りなど、さまざまなゲームで大盛り上がり。

午後には、アイスクリームを食べて涼みながら笑顔いっぱいの1日になりました。参加賞には、利用者の皆さまのお好きなものを景品としてお渡しし、大変喜んでいただけました。

職員と利用者の交流にも一役買っています。

西寺育成苑 デイサービス 生活介護 1日定員20名

送迎、給食提供、入浴、身体機能の維持向上の支援、創作活動・レクリエーションを実施



西寺育成苑
デイサービス
Instagram



介護ベット・入浴リフトの整備

御寄付や助成金を活用して、1階身障トイレに介護ベットを、浴室に入浴用リフトを新たに整備しました。

利用者の方により安心してトイレや入浴サービスを利用いただけるようになったのはもちろん、トイレや入浴の介助における支援員の身体的負担の軽減にもなっています。

実際に入浴用リフトを使用して入浴されている利用者の方にお話を伺うと「とても気持ちいい」とのご感想をいただきました。

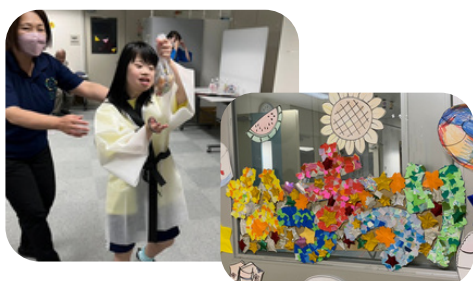


自閉症・強度行動障害支援の取り組み

利用者の皆さまの各障害についての理解と専門的知識の習得に日々努めておりますが、特に自閉症や強度行動障害の支援について尽力しています。

毎週会議を開催し、各利用者の支援について全支援員で話し合いながら進めています。PLAN（計画）→DO（取り組んだ結果）→SEE（気が付いたこと）→PLAN（次の計画）の流れに沿って評価や改善を繰り返すことでより良い支援を目指しています。

また、定期的にデイルーム内のレイアウトを見直し、必要であれば個別スペースを設けるなど、利用者の方々が過ごしやすい環境づくりを行っています。



夏祭り

7月に恒例の夏祭りを開催しました。利用者の皆さんに少しでも夏らしさを感じていただけたらいいと思います毎年開催しています。

今年度はフルーツポンチづくりを行い、炭酸ジュースが噴水のように溢れる様子を見て、利用者の皆さんも嬉しそうでした。「冷たくておいしい」「楽しかった」と大好評でした。

その他にも射的やもぐらたたき、じゃんけんゲーム等のゲームコーナーではキーホルダーやお菓子等の景品をゲットし、大盛り上がりの1日となりました。

計画相談支援事業所 よしだ／西寺育成苑

利用者の皆さんのご希望や困りごとの聞き取り(アセスメント)を実施し、福祉サービスや社会資源を提案、それらを利用するための計画(サービス等利用計画)の作成、また計画の定期的な見直し(モニタリング)を行っています。

令和6年度は2回、2つの事業所の相談支援専門員が集まり情報交換などの会議を行いました。

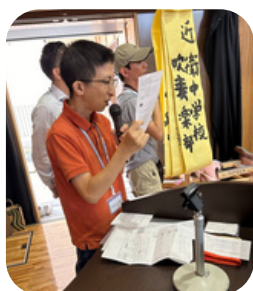
地域との関わり

令和6年度も引き続き、地域の皆さんとの交流の機会として「よしだ青空フェスタ」「唐橋西寺育成苑まつり」を地元自治会連合会の方々のご協力を受けて開催いたしました。

また令和3年度より南区社協、障害保健福祉課、支援センター等が立ち上げられた就労事業所のネットワーク「南区プラットフォーム会議」に参画し、これまで障害者支援のための勉強会などを実施してまいりましたが、地域の方をはじめ多くの方に活動を知っていただきたい趣旨で南区役所をお借りし「ぶらっとフェスティバル」を開催しました。

西寺育成苑では地元小中高の生徒さんとの交流として、新たに開建高校や鳥羽高校の生徒のボランティアを受入いたしました。継続して独居老人昼食会・障害者団体への施設提供、小学生を対象としたパン教室（新たに「workworkみなみ」に参画）も実施しています。

よしだ学園においては、昨年に引き続き近衛中学校の人権学習に先生と連携して講演を行いました。今年度より地域の防災訓練に参加しています。



よしだ青空フェスタ2024



パン作り体験「work work みなみ」

西寺育成苑 (さいじいくせいえん)

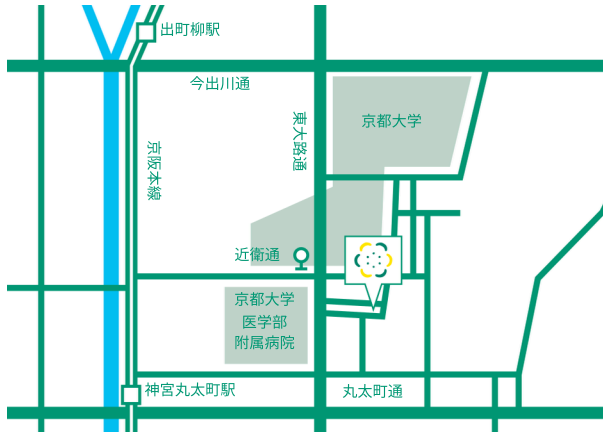
〒601-8469 京都市南区唐橋平垣町64-3



西寺育成苑
(多機能型・デイサービス・特定相談支援事業所)
法人事務局
tel. 075-693-3300 fax. 075-693-3400

京都市よしだ学園

〒606-8315 京都市左京区吉田近衛町26-72



京都市よしだ学園・特定相談支援事業所よしだ
tel. 075-761-2250 fax. 075-761-4940
京都市よしだ福祉工場(事務所)
tel. 075-708-8509 fax. 075-708-8569

データ

- 実習受入人数 79 名 (社会福祉士法定実習・介護実習・職場体験等)
- 研修実施・参加回数 62 回
- 支援員の資格者数
介護福祉士 13名、社会福祉士 10名、精神保健福祉士 5名
公認心理師 1名、看護師 1名 *正職員 令和7年4月1日時点

ご支援いただいた個人・団体のみなさま

- 一勉会 安全衛生協会 様 (寄付金により介護用ベッドと椅子を整備)
- 京セラ株式会社 様 (車椅子)
- 有限会社 北村商事 代表取締役社長 北村 隆幸 様
(寄付金により電動テーブルカッター、
販売用カードラック、CDラジカセを購入)
- 東邦電気産業基金様 (助成金により入浴リフト整備)
- 松尾大社 様 (おさがりのご寄贈)
- 株式会社 朱常分店 様 (バナナ寄贈)
- 唐橋老人クラブ連合会 様 (雑巾の寄贈)



テーブルカッターは下請作業の封止めに、
カードラックは自主製品の販売時に活躍

令和6(2024)年度 法人決算報告

貸借対照表	
流動資産	203,364
固定資産	511,927
資産合計	715,292
流動負債	31,033
固定負債	0
純資産の部	684,258
負債及び純負債合計	715,292

事業活動計算書		単位：千円
サービス活動収益計(1)	377,599	
サービス活動費用計(2)	385,857	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	▲ 8,257	
サービス活動外増減差額(4)	8,412	
経営増減差額(5)=(3)+(4)	154	
特別増減差額(6)	695	
当期活動増減差額(7)=(5)+(6)	850	
前期繰越活動増減差額(8)	116,077	
その他の積立金取崩額(9)	3,800	
その他の積立金積立額(10)	11,200	
次期繰越活動増減差額(11)=(7)+(8)+(9)-(10)	109,528	



表紙・裏表紙
京都市よしだ学園
ご利用者によるイラスト